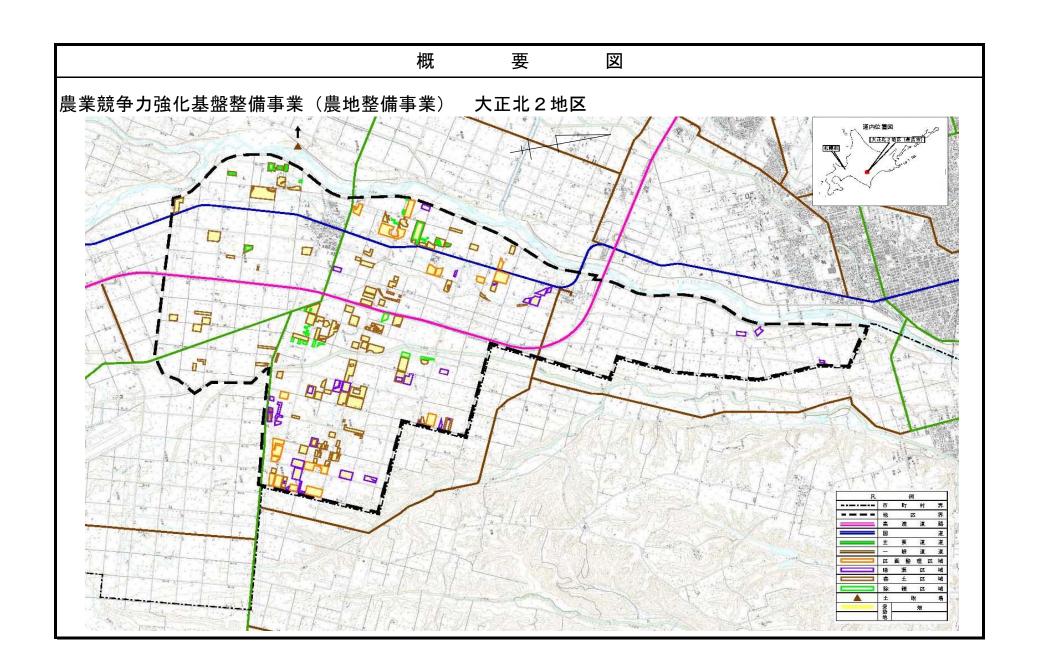
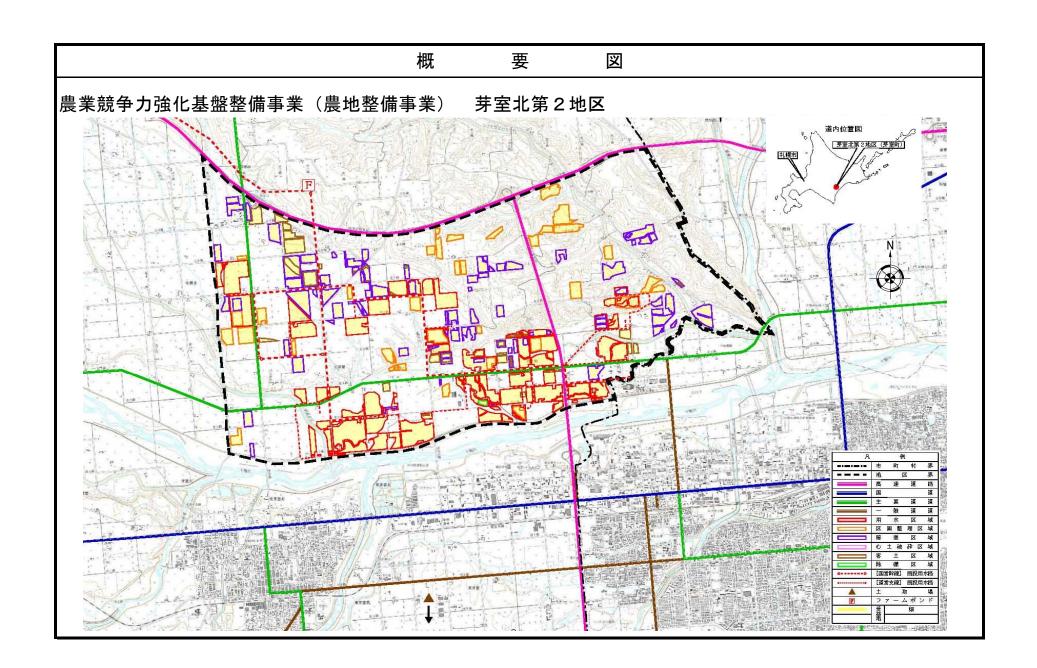
					i
事業名	農業競争力強化基礎	盤整備事業	地区名	大正北	
関係市町村	まびひろし 北海道帯広市		事業主体	北海道	
事業目的	本地区は、小麦、小豆、てんさい、ばれいしょの畑作4品を主体とし、スイートコーン、やまのいもの高収益作物を取り入れた畑作農業と一部酪農が混在する地域である。 地区内の基盤整備は、担い手の育成・支援に向け、農地や基幹道路など総合的な整備が行われてきたものの、土壌状況により排水性の悪いほ場が存在しており、湿害等による収量の減少や品質の低下、播種や防除・収穫の適期作業に支障をきたしている。 このため、本事業により区画整理、暗渠排水等を総合的に整備することで生産性の高い優良農地を確保し、効率的な畑作農業経営の確立及び農業の生産性の向上を図り、本地域の農業競争力の強化を図るものである。				
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費		工期
	386ha	48戸	1, 756百万円		平成28~35年度
	主要工事	区画整理 81ha、暗渠排水 64ha、客土 243ha、 除礫 25ha			
	関連事業				
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C		算定方式
	2, 118百万円	1,561百万円	1. 35		総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり				

出典:大正北2地区土地改良事業計画概要書(北海道十勝総合振興局調整課作成)



事業名	農業競争力強化基盤 農地整備事業	<u>紧整備事業</u>	地区名	茅室北		
関係市町村	かさいぐん めむろちょき 北海道河西郡芽室町		事業主体	北海道		
事業目的	本地区は、小麦、てんさい、ばれいしょ、豆類の畑作4品の他、スイートコーンを主要作物とする大規模畑作専業経営と酪農専業経営が展開されている。 地区内の基盤整備は、担い手の育成・支援に向け、農地や基幹道路など総合的な整備が行われてきたものの、土壌状況により排水性の悪いほ場が存在しており、湿害等による収量の減少や品質の低下、播種や防除・収穫の適期作業に支障をきたしている。また、畑地かんがい施設の未整備ほ場については、干ばつへの対応ができない状況となっている。 このため、本事業により国営かんがい排水事業と一体的に畑地かんがいの整備を行うとともに、区画整理、暗渠排水等を総合的に整備することで生産性の高い優良農地を確保し、効率的な畑作農業経営の確立及び農業の生産性の向上を図り、本地域の農業競争力の強化を図るものである。					
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費 エ 1,462百万円 平成28~		工期	
	714ha	69戸			平成28~34年度	
	主要工事 畑地かんがい 376ha、区画整理 121ha、暗渠排水 223 客土 65ha、除礫 2 ha				a、暗渠排水 223ha	•
関連事業 国営かんがい排水事業 十勝川左岸地区				ζ		
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C		算定方式	
	4, 482百万円	3,327百万円	1. 34		総費用総便益比方	式
概要図	別添のとおり					

出典: 芽室北第2地区土地改良事業計画概要書(北海道十勝総合振興局調整課作成)

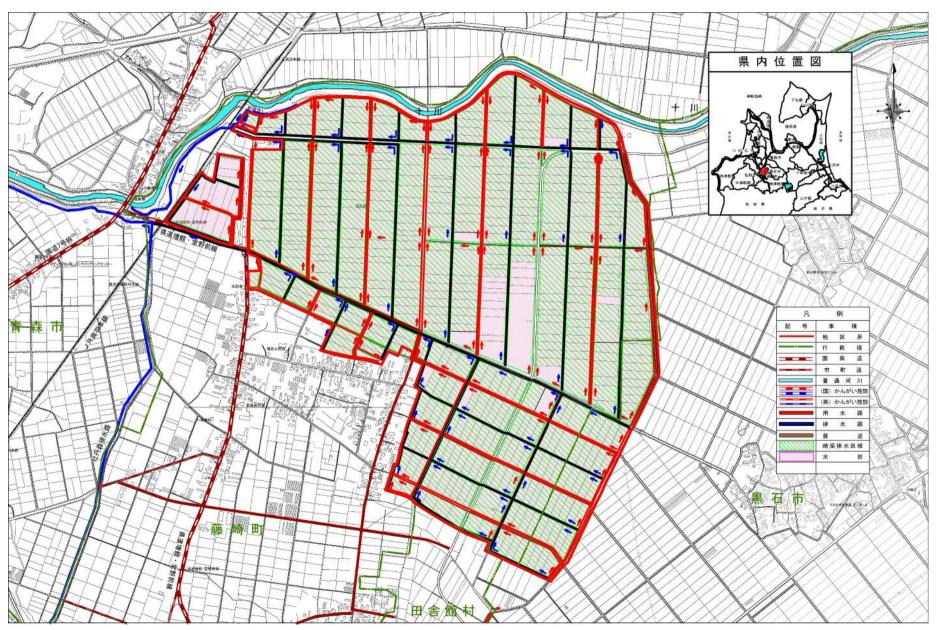


事業名	農業競争力強化基 農地整備事業	竖整備事業	地区名	ぶくしま 福島	
関係市町村	त्रिक्षात्र क्षेत्रकार्थवर्षक्षिक्षः 青森県黒石市、南津軽郡藤崎町		事業主体	青森県	
事業目的	本地区は、南津軽郡藤崎町の北東部に位置し、福島集落から十川沿いに広がる水田地帯である。 本地区のほ場は、県営ほ場整備事業第四黒石地区で区画整理されたが、暗渠排水は事業完了から39年経過しているため、経年劣化により機能が低下し、現況水路は土水路が大半を占めていることから、洗掘や法崩れによって維持管理に苦慮している。 このため、用排水路等の農業生産基盤整備と併せ、担い手農家の経営規模拡大に取り組むことで効率的で生産性の高い水田農業の展開と本地域の農業競争力の強化を図るものである。				
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	ŧ	工期
	169 ha	117 戸	1, 104 ਵ	5万円	平成28~33年度
	主要工事	・農道 10km ・用排水路 32km ・暗渠排水 153ha			
	関連事業 国営かんがい排水事業 浅瀬石川地区				
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C		算定方式
	2,527 百万円	1,560 百万円	1. 61		総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり				

出典:福島地区土地改良事業計画概要書(青森県農林水産部農村整備課作成)

概 要 図

農業競争力強化基盤整備事業(農地整備事業) 福島地区



事 業 名	農業競争力強化基 農地整備事業	盤整備事業	地区名	ນດ ສກ 猪 岡		
関係市町村	岩手県一関市		事業主体 岩ョ	-県		
事業目的	本地区は、岩手県の最南端に位置する一関市中心より西方約20kmの一関市に位置している山間地域で、地区中心を南北に流れる一級河川小猪岡川とその支流の準用河川・普通河川沿いに広がる水田地帯である。本地区の農地は、昭和30年代から40年代にかけて非補助土地改良事業により整備された区域もあるが、地区の大半は未整備で不整形の小区画である。地区の農道は狭小で農道が接していないほ場も多く田越しに通作しているなど農業用機械の通行に支障をきたしている。また、水路は用排兼用の土水路であるため、堆積土砂により埋塞するなど、維持管理に多大な労力と費用を要しているほか、地下水位が高い状態にあり水田の汎用化が困難な状況となっている。このため、本事業により区画整理によるほ場の大区画化を行うことで担い手への農地集積を加速化させ、本地域の農業競争力の強化を図るものである。					
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期		
	97 ha	70戸	2, 631百万円	平成28~33年度		
	主要工事	区画整理 97ha				
	関連事業	該当なし				
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C	算定方式		
	2, 750百万円	2, 290百万円	1. 2	0 総費用総便益比方式		
概要図	別添のとおり					

出典:小猪岡地区土地改良事業計画概要書(岩手県農林水産部農村計画課作成)

